

身近な公園の利用に関するアンケート 結果まとめ

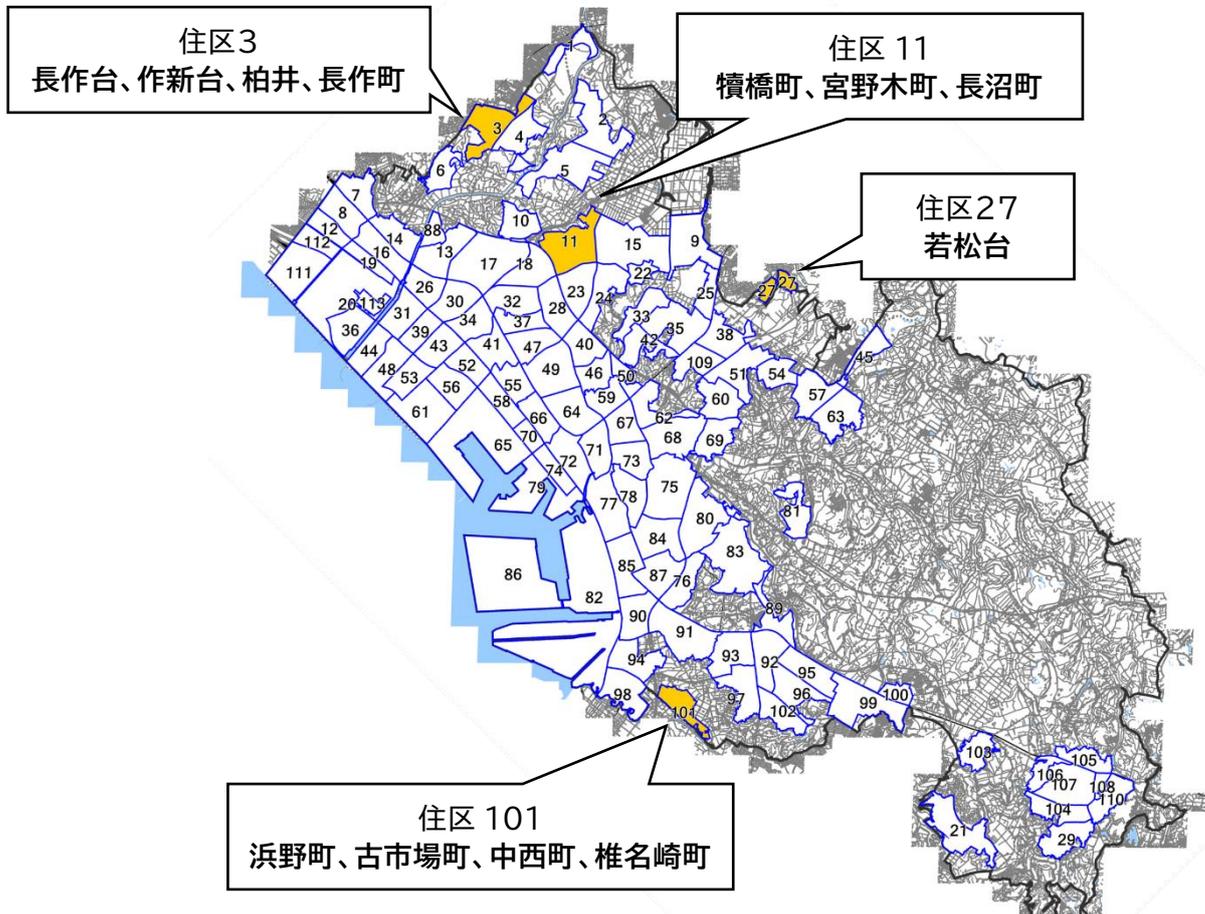
千葉市には 1,100 箇所以上の公園があり、歩いていける身近な公園は、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の自然とのふれあいやレクリエーション活動、健康づくり、文化活動、災害時の拠点等、多様な機能を担っています。

このアンケートは、地域ニーズに対応した身近な公園づくりに向けて、市民のみなさまのご意見をお伺いし、今後の公園事業に役立てていくために実施しました。

アンケート調査の結果は、今後の公園づくりに関する統計資料として活用します。

実施内容

- ①調査期間 令和 6 年 10 月 10 日（木）～11 月 8 日（金）
- ②調査方法 対象エリアにポスティングにより全戸配布し、郵送または WEB 回答により回収
- ③設問項目 回答者の属性 年齢、世帯構成、子どもの有無、居住地域
公園の利用状況 住区内の公園の利用状況について
住区内の公園の数や機能について
徒歩・自転車で行ける範囲にあったらよい公園
自由意見 公園の利用環境への意見や地域の課題解決に向けて望むこと
- ④対象エリア 市内の市街地を、住区という 113 エリアに分割し、そのうち特徴の異なる 4 住区を対象としました。
- ⑤回答数 住区 3 : 1,384 件 (22.6%) 住区 11 : 1,239 件 (26.2%)
住区 27 : 437 件 (34.5%) 住区 101 : 257 件 (17.0%)

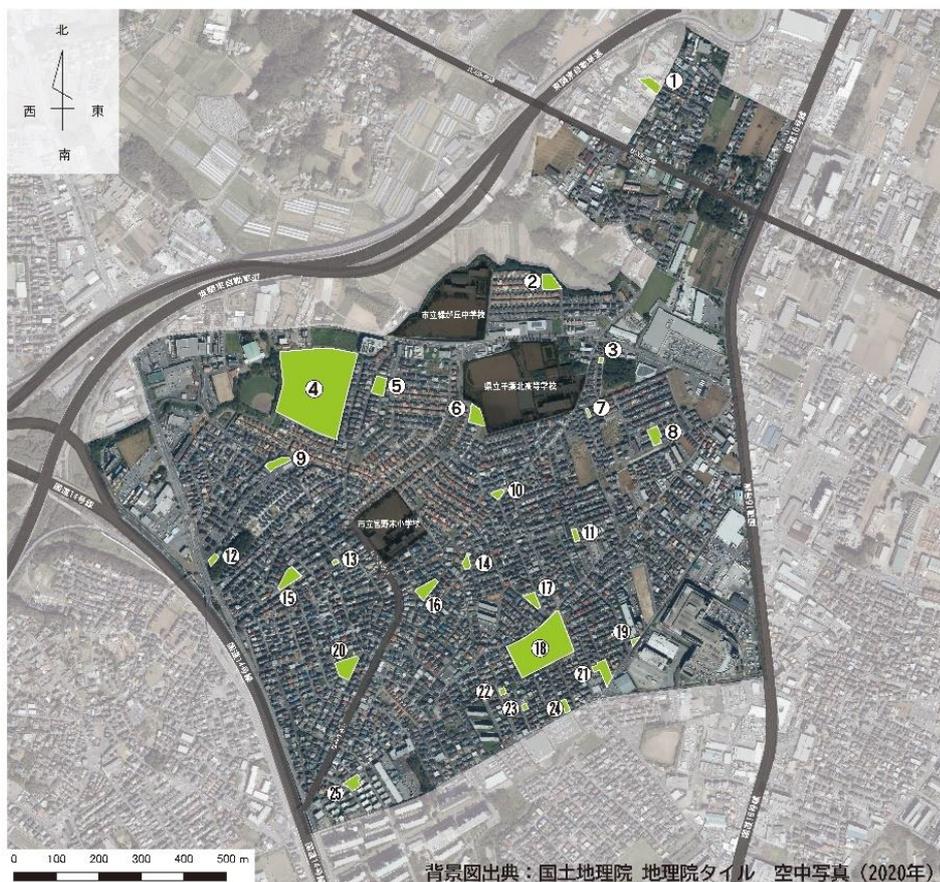


住区3 花見川区長作台1,2丁目、作新台1~8丁目、柏井1丁目、長作町の一部



番号	公園名称
1	芦太公園
2	芦太山公園
3	芦太第2公園
4	作新台2丁目公園
5	作新台2丁目第4公園
6	作新台4丁目第3公園
7	作新台3丁目公園
8	作新台1丁目公園
9	大堀公園
10	作新台3丁目第2公園
11	森長公園
12	作新台2丁目第2公園
13	作新台公園
14	作新台2丁目第3公園
15	享保公園
16	作新台4丁目公園
17	作新台4丁目第2公園
18	長作子ビッコ広場
19	長作台第4公園
20	作新台光公園
21	作新台6丁目公園
22	長作台第3公園
23	長作市民の森
24	長作台第1公園
25	長作台第2公園
26	長作みどり公園

住区11 花見川区犢橋町、稲毛区宮野木町、長沼町のそれぞれ一部



番号	公園名称
1	犢橋本郷第3公園
2	宮の杜けやき公園
3	長沼緑が丘公園
4	宮野木中央公園
5	しずかが丘公園
6	宮の杜こがし公園
7	長沼やまぼうし公園
8	あらく第2公園
9	宮野木北第2公園
10	宮長公園
11	あらく公園
12	宮野木北第3公園
13	宮野木大橋第1公園
14	宮野木境公園
15	宮野木北第1公園
16	京町公園
17	長沼公園
18	長沼町公園
19	長沼第5公園
20	木野公園
21	長沼第4公園
22	東宮野木第3公園
23	東宮野木第4公園
24	長沼第2公園
25	長沼第3公園

住区 27 若葉区若松台 1～3 丁目



番号	公園名称
1	若松台北公園
2	若松台西公園
3	若松台森のひろば公園
4	若松台公園
5	若松台東公園
6	若台第1公園
7	若台第2公園
8	若台第3公園

住区 101 中央区浜野町、緑区古市場町、中西町、椎名崎町のそれぞれ一部

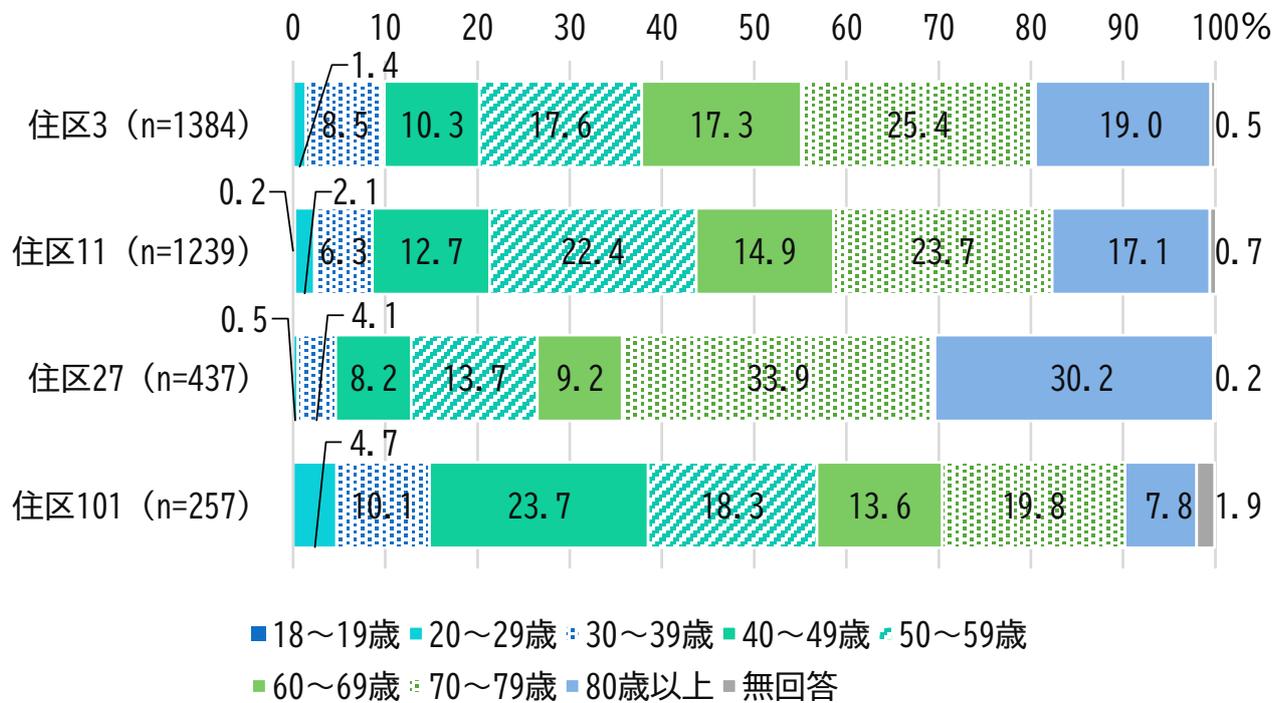


番号	公園名称
1	古市場公園
2	古市場第2公園
3	浜野南第1公園
4	古市場第1公園
5	古市場第4公園
6	古市場第3公園
7	古市場第6公園
8	古市場第5公園
9	古市場なないろ公園
10	なかにし公園

問1 あなたの年齢（満年齢）を教えてください。（1つに○）

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70～79歳 | 8 80歳以上 |

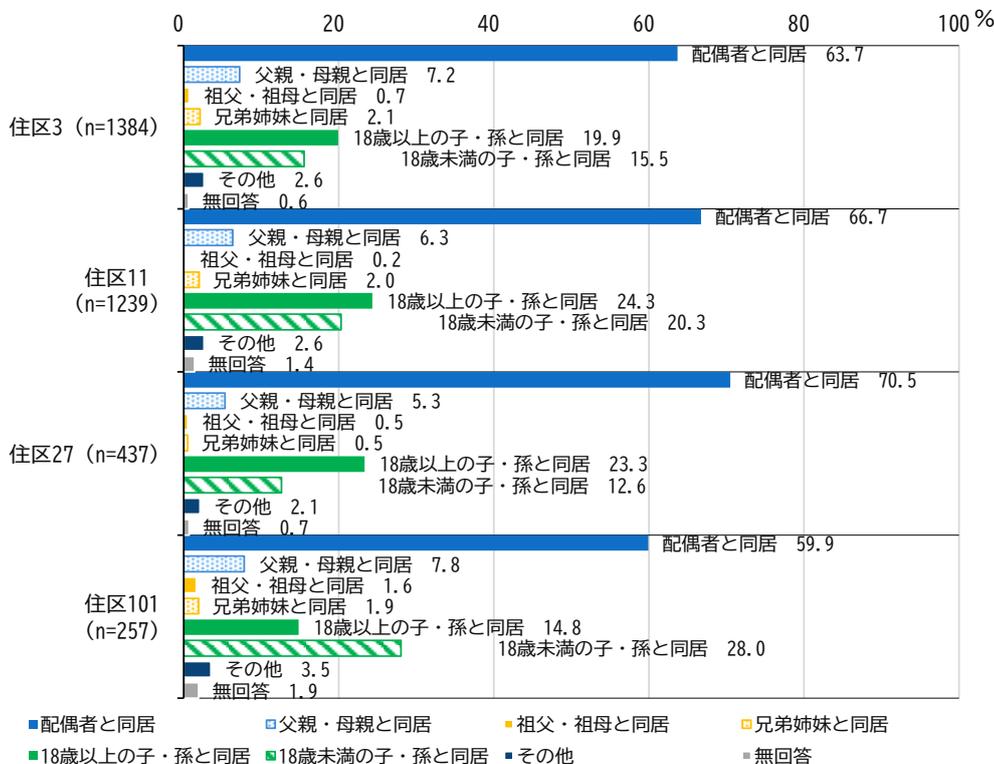
○いずれの住区においても40代以上の回答が8割以上を占めている。



問2 世帯の構成を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 一人暮らし 2 配偶者と同居 3 父親・母親と同居 4 祖父・祖母と同居
 5 兄弟姉妹と同居 6 18歳以上の子・孫と同居 7 18歳未満の子・孫と同居
 8 その他 ()

○ いずれの住区においても「配偶者と同居」が最も多く、18歳未満の子・孫と同居している割合は、2割前後となっている。



問3 問2で「18歳未満の子・孫と同居」を選択した方にうかがいます。子ども・孫の年代を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 小学生未満 2 小学生 3 中学生 4 高校生以上

○ いずれの住区においても小学生未満及び小学生の割合が高い。

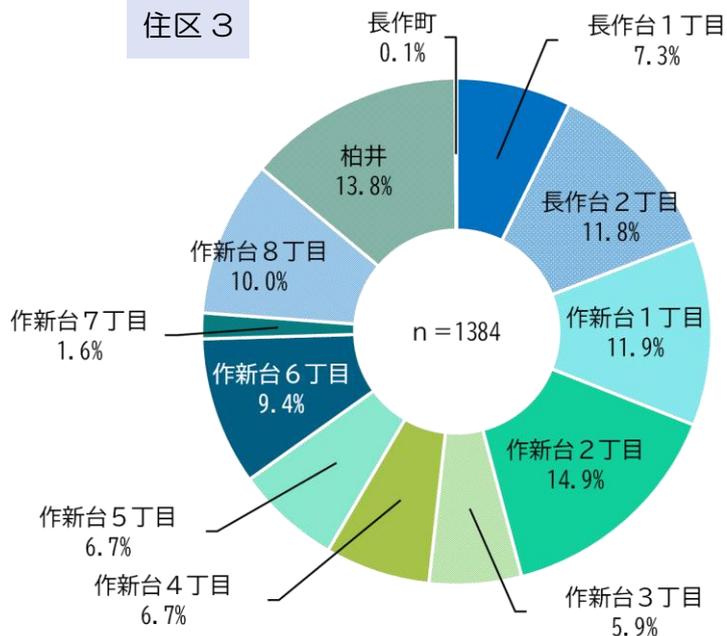


問4 居住地域を教えてください。

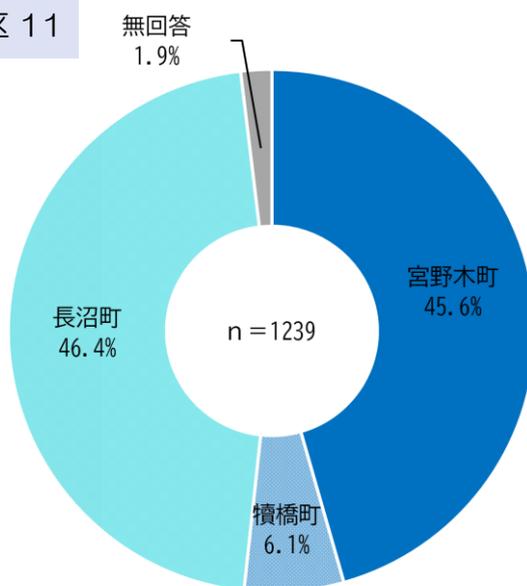
住区 3	1 長作台1丁目	2 長作台2丁目	3 作新台1丁目	4 作新台2丁目
	5 作新台3丁目	6 作新台4丁目	7 作新台5丁目	8 作新台6丁目
	9 作新台7丁目	10 作新台8丁目	11 柏井	12 長作町
住区 11	1 宮野木町	2 犢橋町	3 長沼町	
住区 27	1 若松台1丁目	2 若松台2丁目	3 若松台3丁目	
住区 101	1 浜野町	2 古市場町	3 中西町	4 椎名崎町

○ 回答者の居住地域の割合は、各住区の人口構成と大きく変わらない結果となっている。

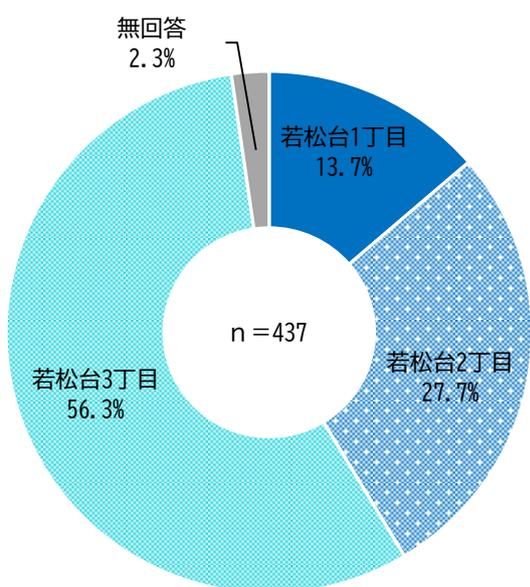
住区 3



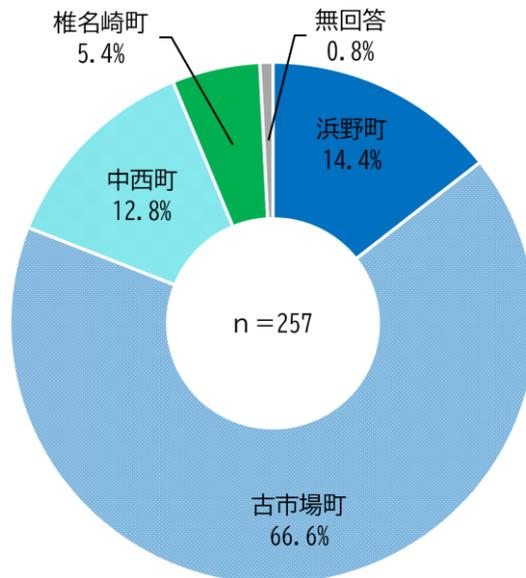
住区 11



住区 27



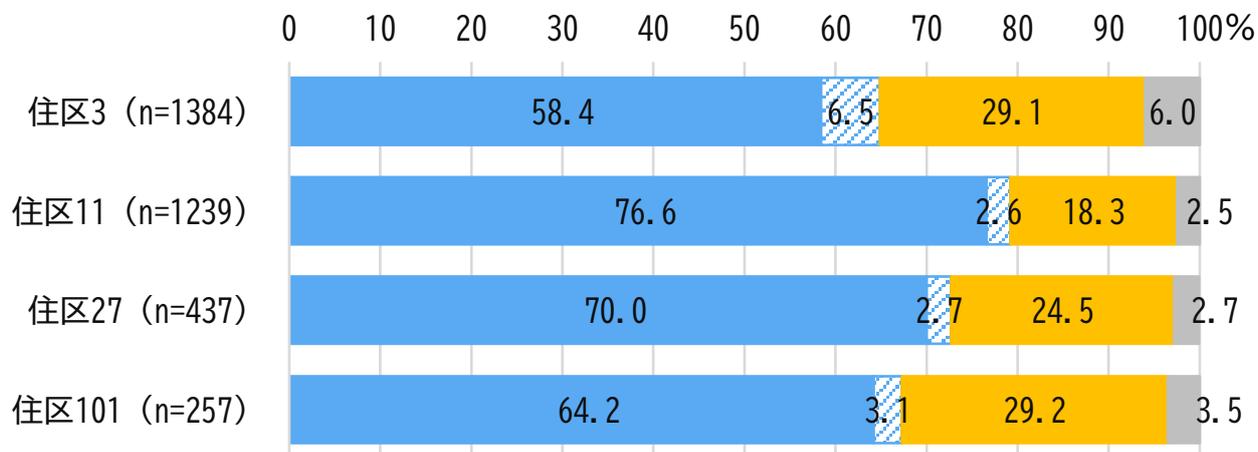
住区 101



問5-1 地図の中の公園の利用状況について教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 地図の中に利用する公園がある。 | ➡ 問5-2へ |
| 2 利用する公園はあるが、この地図の中にはない。 | ➡ 問6へ |
| 3 公園を利用しない。 | ➡ 問6へ |

○ いずれの住区においても回答者の5割以上が住区内の公園を利用しており、住区外の公園の利用を含めると6割以上の回答者が公園を利用している。

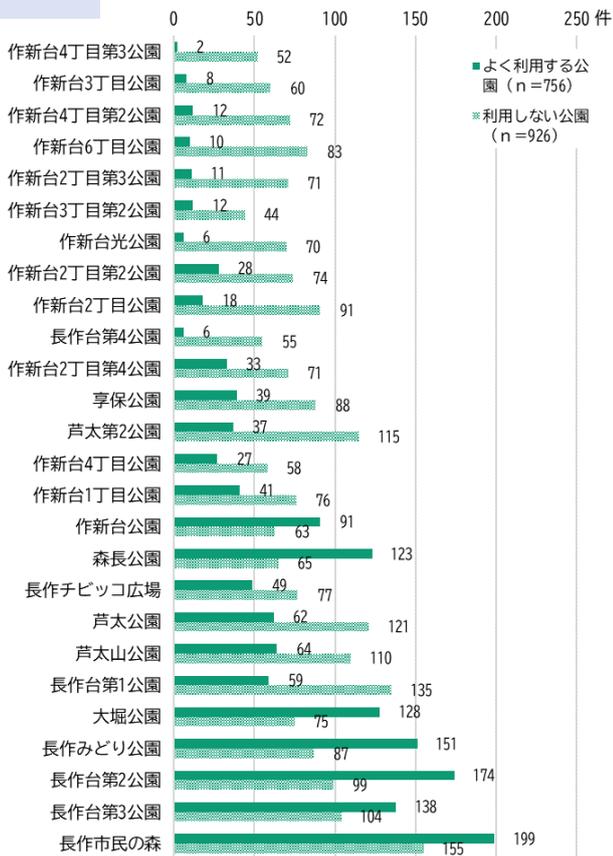


- 地図の中に利用する公園がある。
- ▨ 利用する公園はあるが、この地図の中にはない。
- 公園を利用しない。
- 無回答

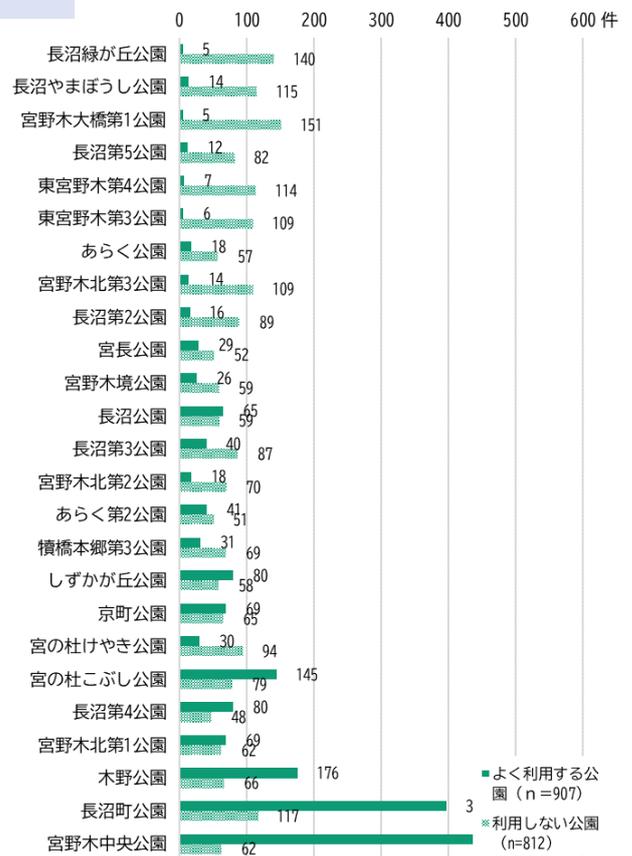
大人がよく利用する公園/利用しない公園

○ 上から、公園の面積が小さい順に掲載している。公園の面積が大きいほど、よく利用する人数が多くなり、公園の面積が小さいほど、近くにあるが利用しない人数が多くなるという傾向が見られる。

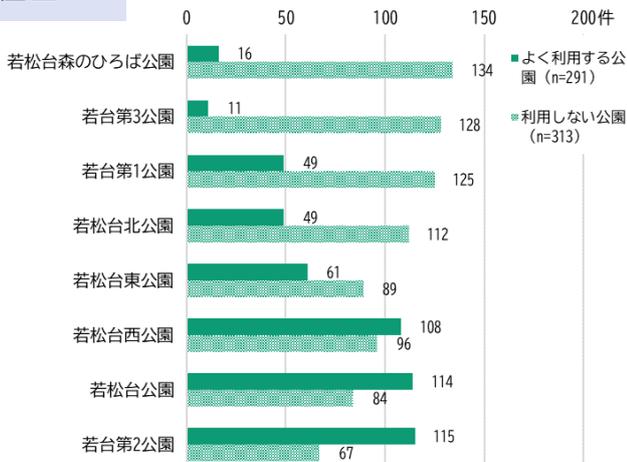
住区 3



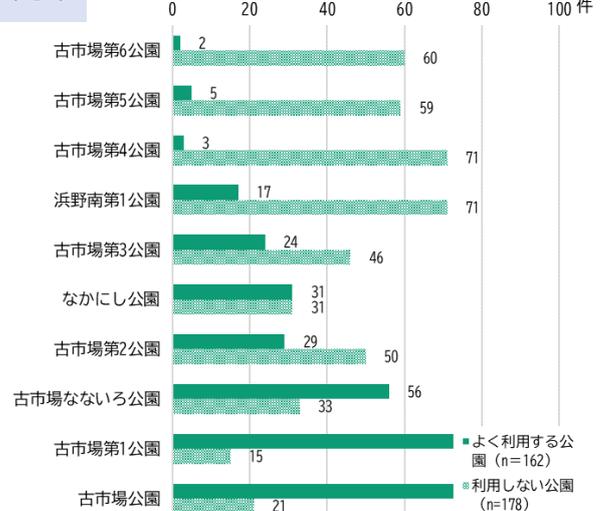
住区 11



住区 27

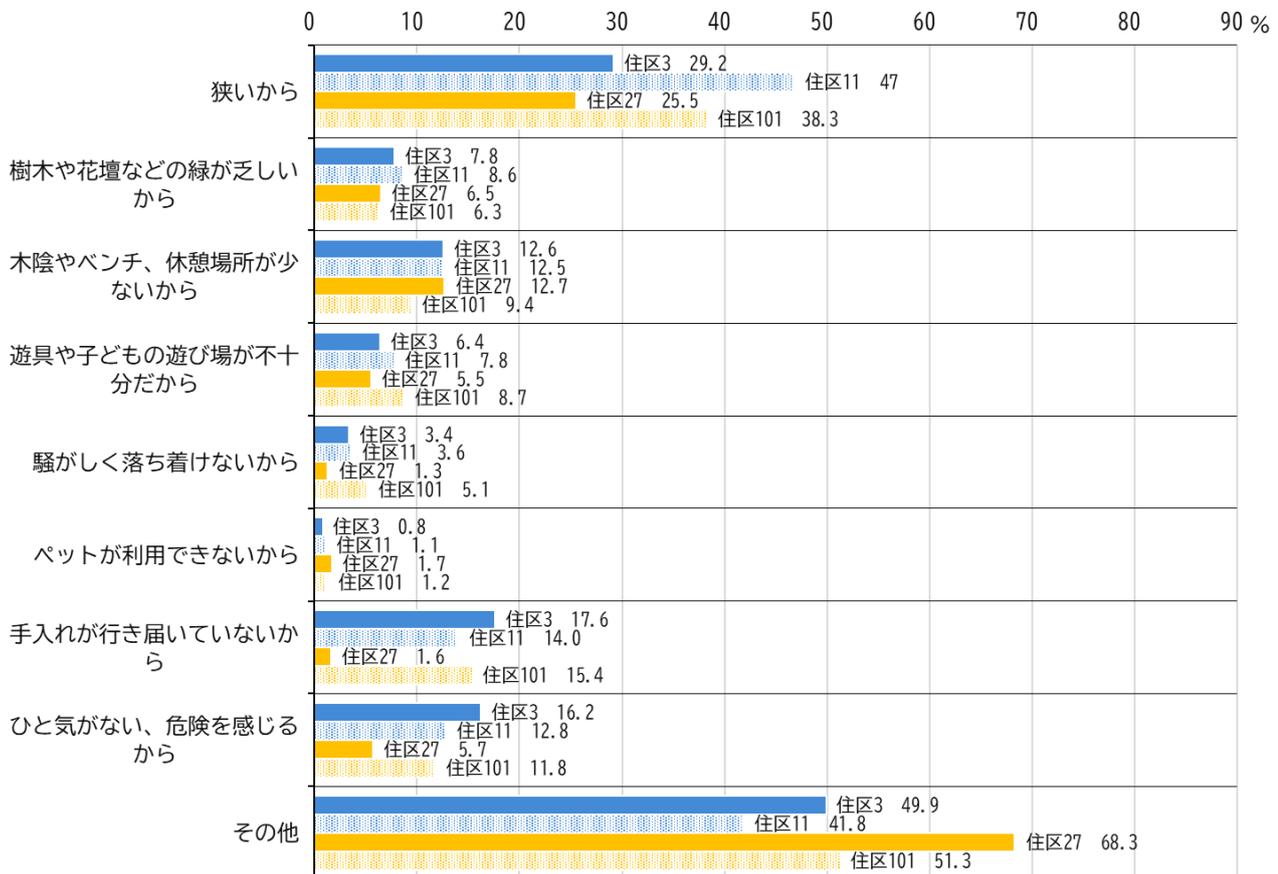


住区 101



大人が利用しない理由

- いずれの住区においても、傾向はほとんど変わらず、「狭いから」が多い。小規模公園は、利用者の少なさから手入れが行き届いていないことが多く、小規模公園が少ない住区 27 では、「手入れが行き届いていないから」を理由にする人が少ない。
- また、「その他」の回答が最も多くなっているが、「行く理由がない」「やることがない」といった事由が多く挙げられている。



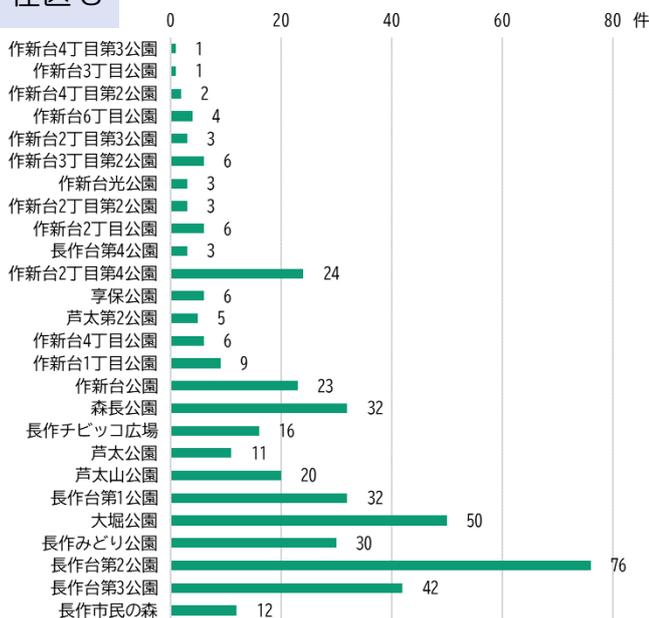
問7 子どもが（または子どもと一緒に）よく行く公園について、利用状況について教えてください。

利用する方の年代	1 小学生未満	2 小学生	3 中学生	4 高校生以上
主な移動手段	1 徒歩	2 自転車	3 その他（	）
移動時間	1 5分以内	2 15分以内	3 30分以内	4 30分以上
利用する理由 あてはまるものすべてに○	1 近いから	2 樹木や花壇などの緑に触れ合えるから		
	3 木陰やベンチ、休憩場所があるから			
	4 遊具や子どもの遊び場が充実しているから			
	5 かけっこなど、走れるスペースがあるから	6 ボール遊びができるから		
	7 トイレや水道があるから	8 静かで落ち着ける場所だから		
	9 手入れが行き届いているから	10 安心して使えるから	11 その他	
活動内容 あてはまるものすべてに○	1 遊具で遊ぶ	2 散歩をする	3 かけっこなど走って遊ぶ	
	4 植物やいきものを観察する	5 ボールで遊ぶ		
	6 ベンチでのんびりすごす	7 友達と話をする	8 その他	

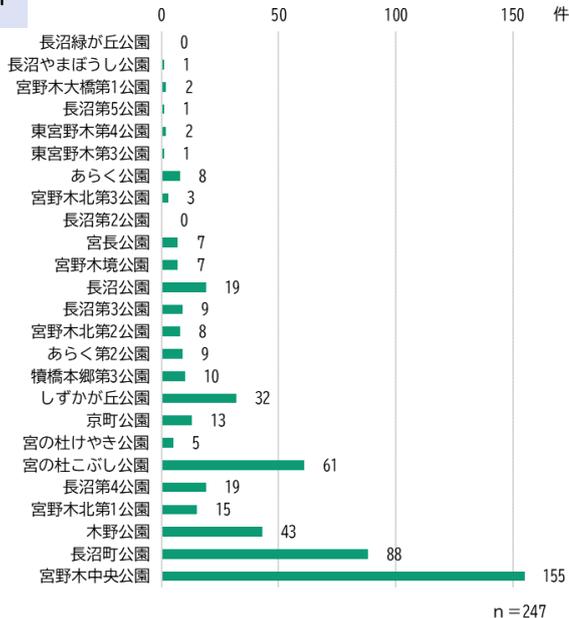
子どもがよく利用する公園

○ 傾向は大人の利用状況と同様で、面積が大きい公園になるほど利用者が多くなる傾向にある。ただし、住区3「作新台2丁目第4公園」や、住区101「なかにし公園」など、子どもの利用者が多い公園も見受けられる。これは、公園近隣の住宅団地の開発状況等による子供の居住者数や、大きさに関わらず徒歩圏内の公園を利用することが大人に比べて多いためと推測される。

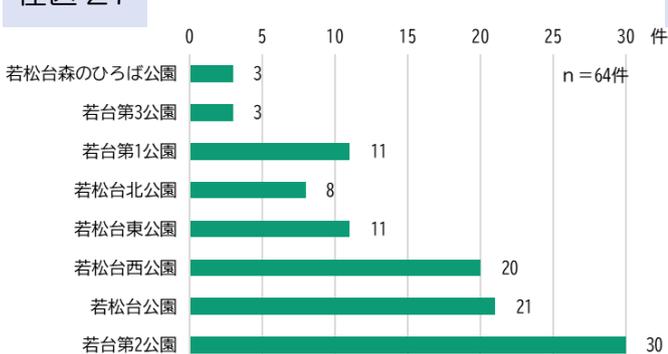
住区 3



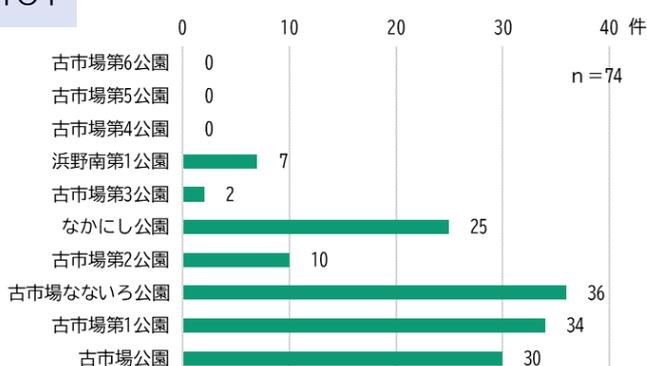
住区 11



住区 27

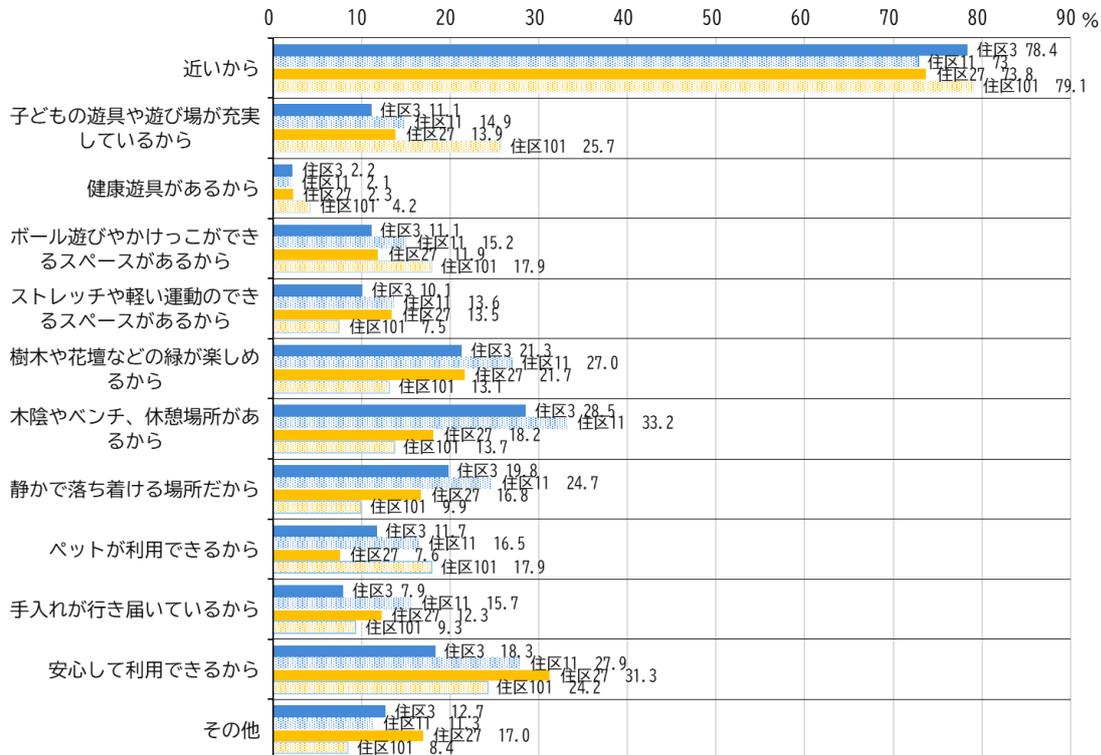


住区 101



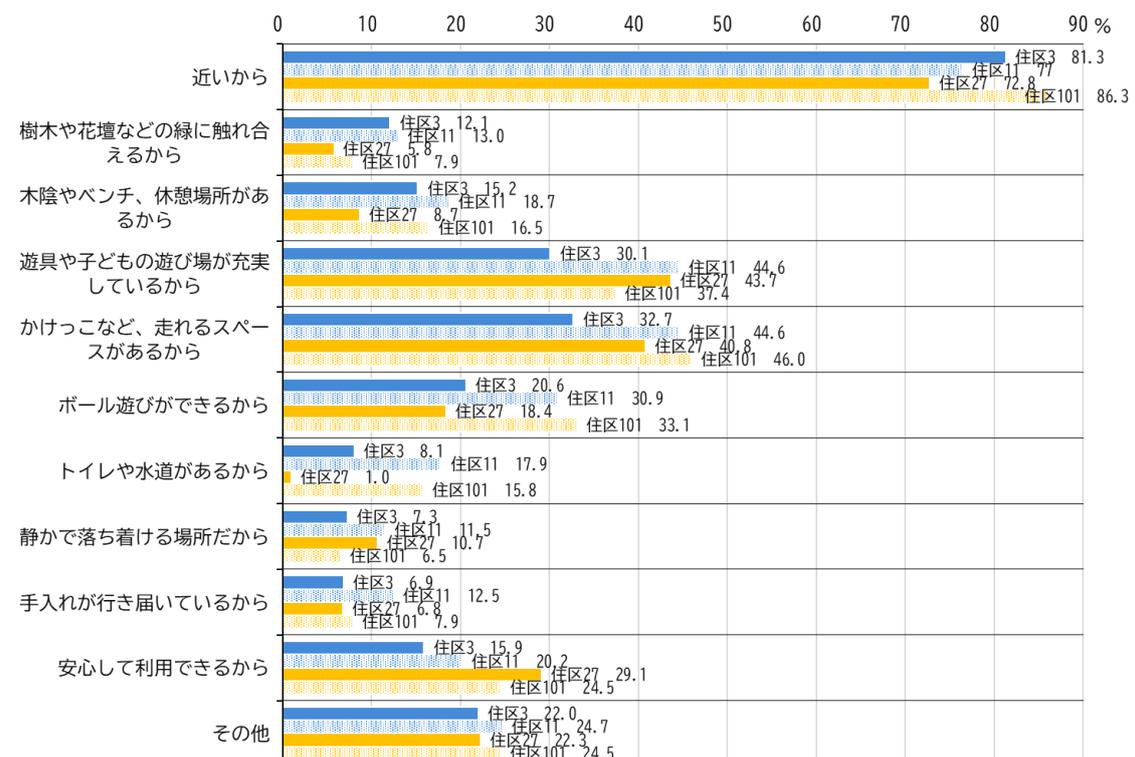
大人が利用する理由

- いずれの住区においても、傾向はほとんど変わらない。「近いから」が7～8割を占め、徒歩圏内で公園に到達できる環境が概ね整っていることが分かる。その他、「樹木や花壇などの緑」「木陰やベンチ、休憩場所」の割合が高い。



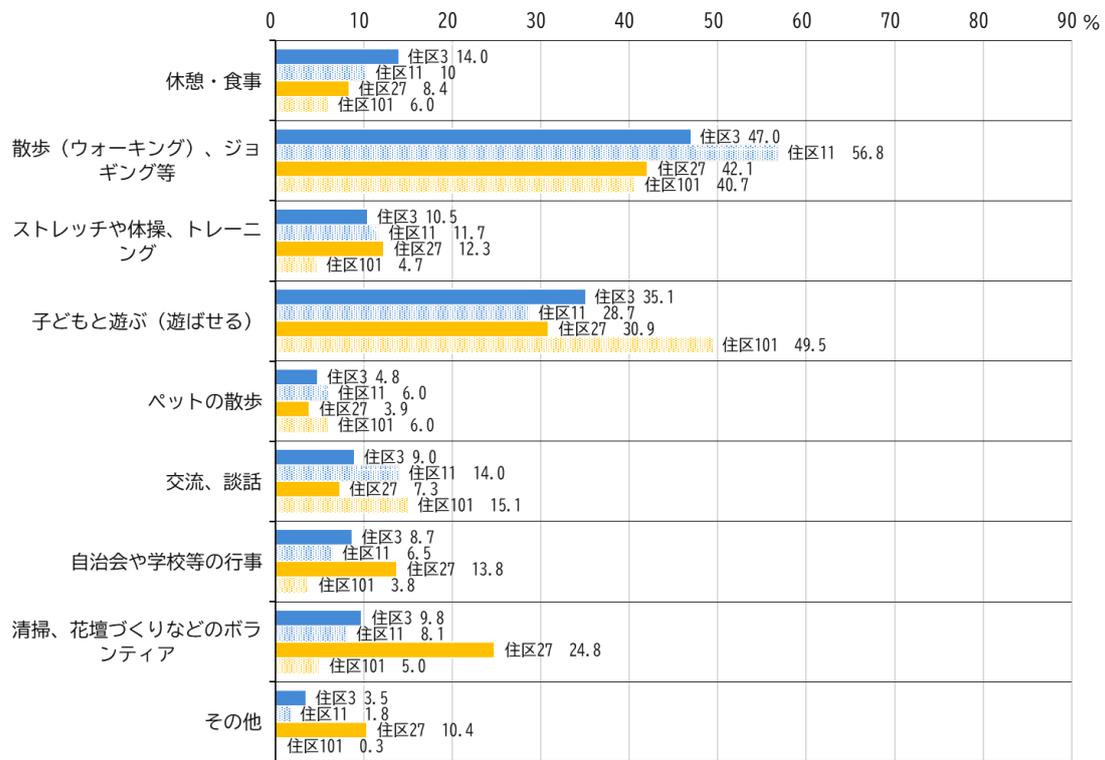
子どもが利用する理由

- 子どもの場合、「近いから」の割合が更に増加するほか、大人の利用と違い、「遊具や子どもの遊び場」「かけっこなどの走れるスペース」の割合が高い。



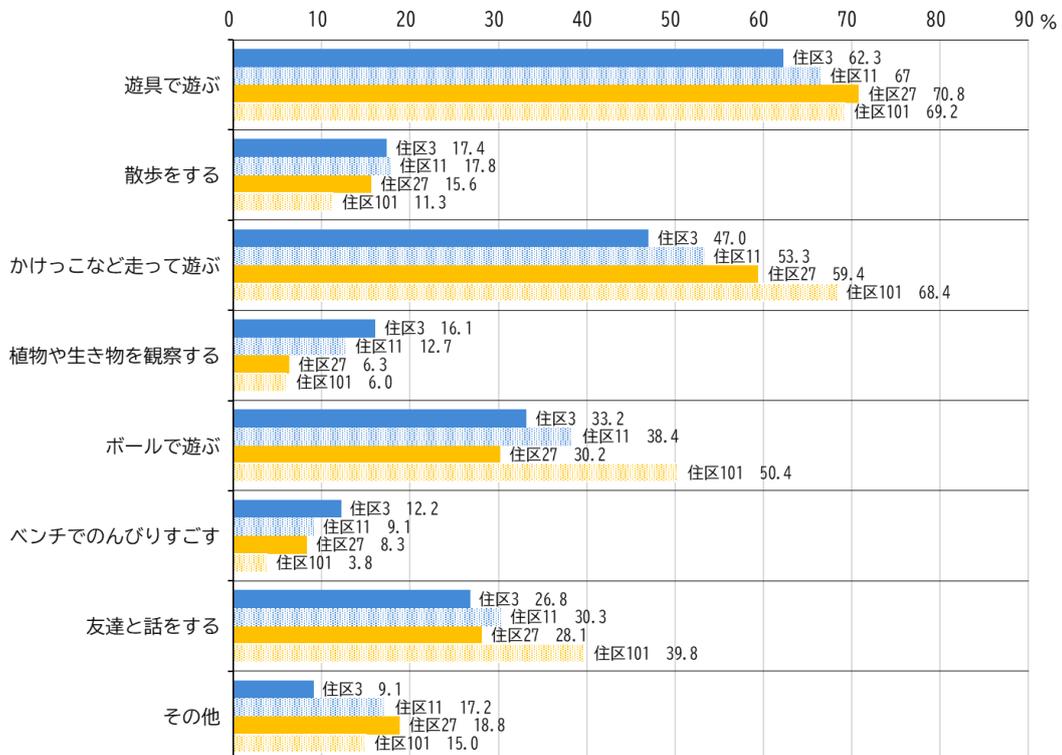
大人の活動内容

- いずれの住区においても、傾向はほとんど変わらない。緑や休息を理由に公園を利用する人が多いこともあり「散歩、ジョギング等」の利用が多い。



子どもの活動内容

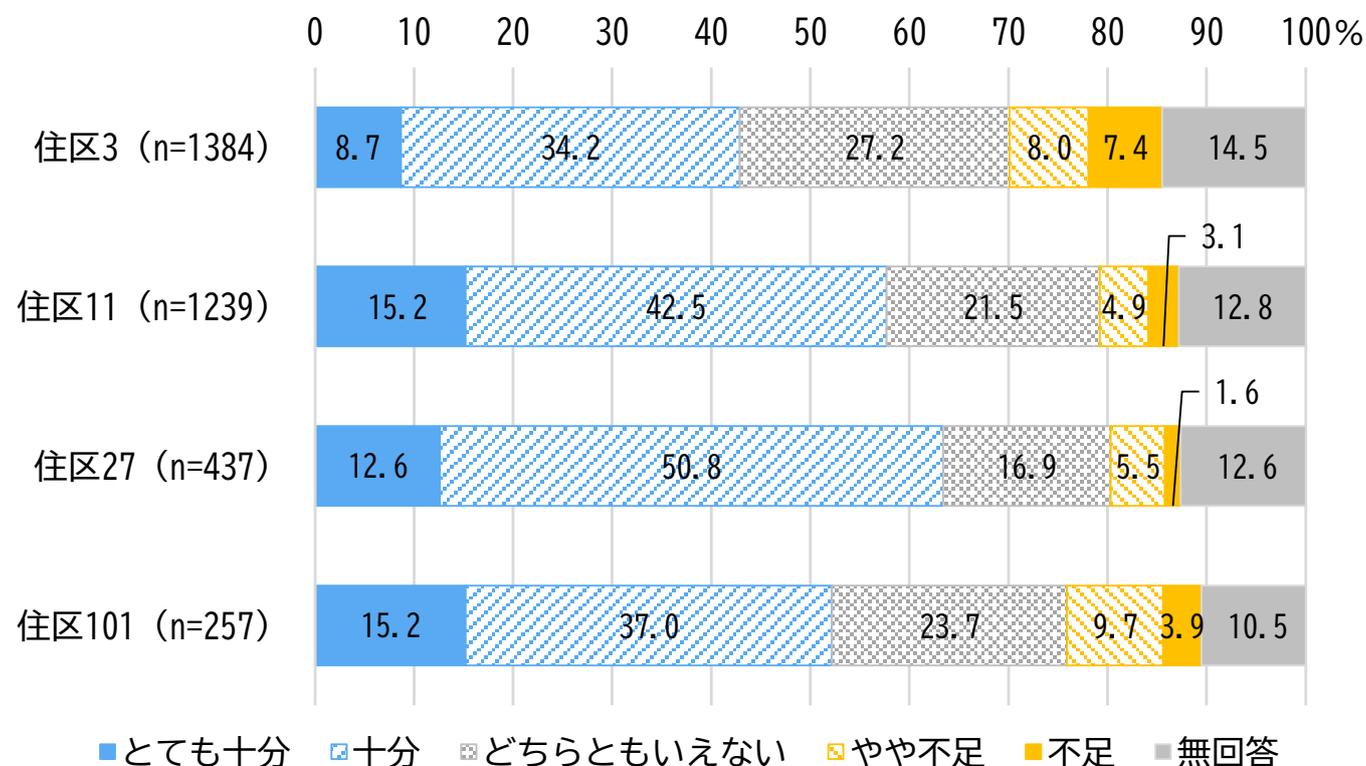
- 子どもの活動についても同様に、遊具や広場を理由に公園を利用する人が多いこともあり、遊具やかけっこ、ボール遊び等の活動の利用が多い。



問8 近隣の身近な公園の数について、どのように感じていますか。(1つに○)

1 とても十分 2 十分 3 どちらともいえない 4 やや不足 5 不足

○ いずれの住区においても「とても十分」「十分」を合わせた割合は4割以上となっており、「不足」「やや不足」を合わせた割合は1割程度となっている。

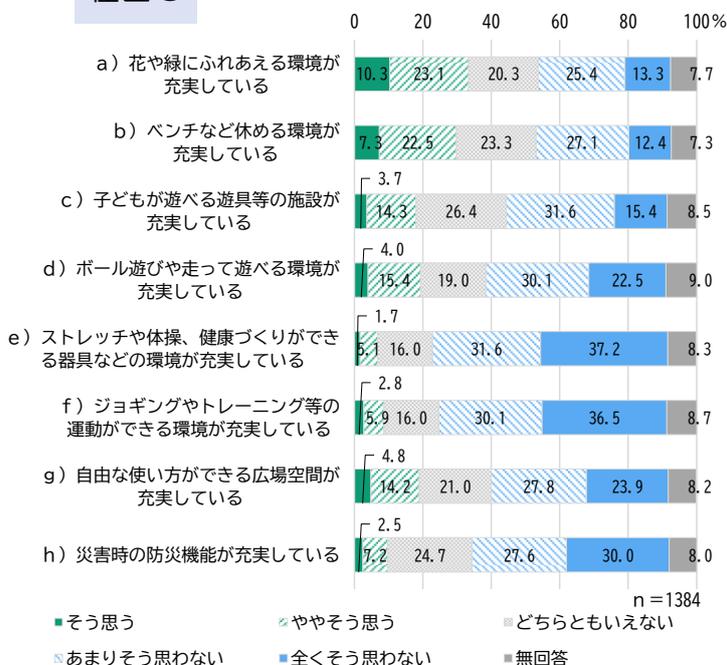


問9 現在の近隣の公園の機能について、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

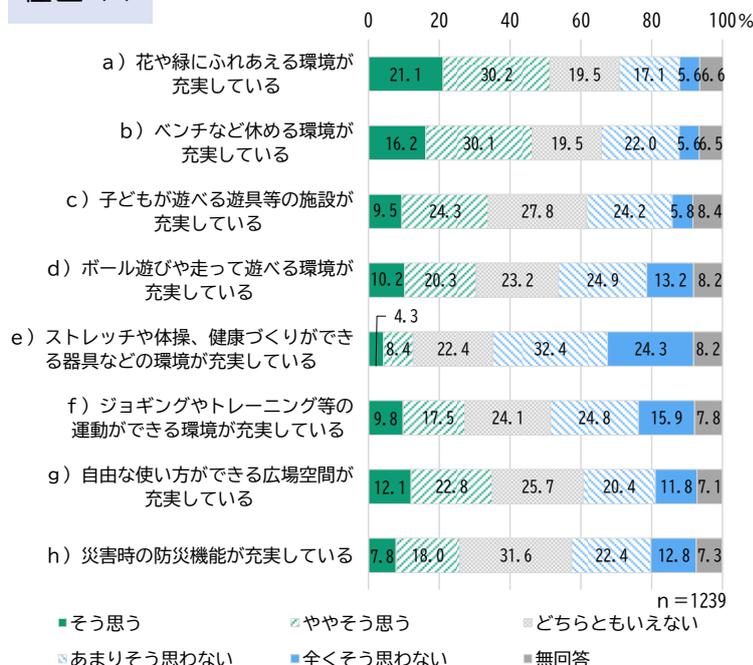
	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	まったく そう思わない
a) 花や緑にふれあえる環境が充実している	1	2	3	4	5
b) ベンチなど休める環境が充実している	1	2	3	4	5
c) 子どもが遊べる遊具等の施設が充実している	1	2	3	4	5
d) ボール遊びや走って遊べる環境が充実している	1	2	3	4	5
e) ストレッチや体操、健康づくりができる器具などの環境が充実している	1	2	3	4	5
f) ジョギングやトレーニング等の運動ができる環境が充実している	1	2	3	4	5
g) 自由な使い方ができる広場空間が充実している	1	2	3	4	5
h) 災害時の防災機能が充実している	1	2	3	4	5

○ いずれの住区においても、「花や緑にふれあえる環境」「ベンチなど休める環境」を評価している割合が比較的高く、「ストレッチや体操、健康づくりができる器具などの環境」「ジョギングやトレーニング等の運動ができる環境」「災害時の防災機能」が不足しているという評価となっている。

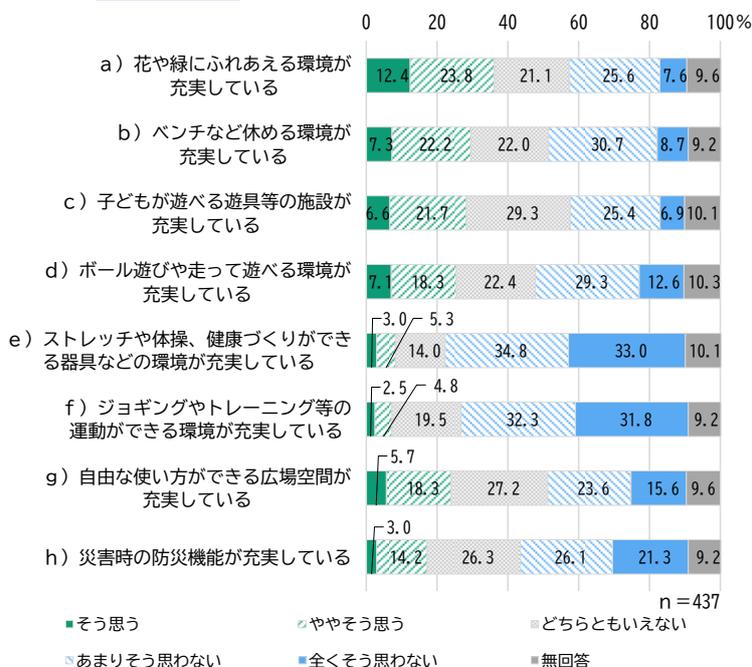
住区 3



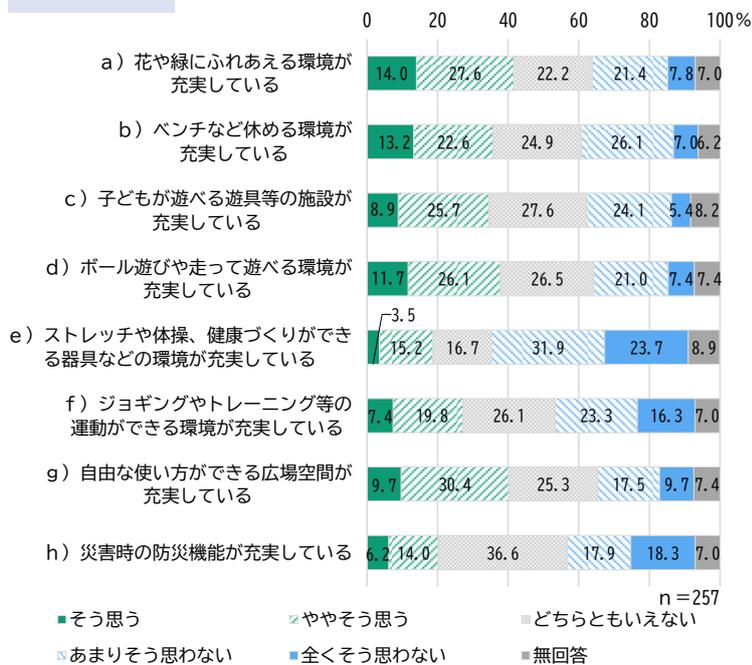
住区 11



住区 27



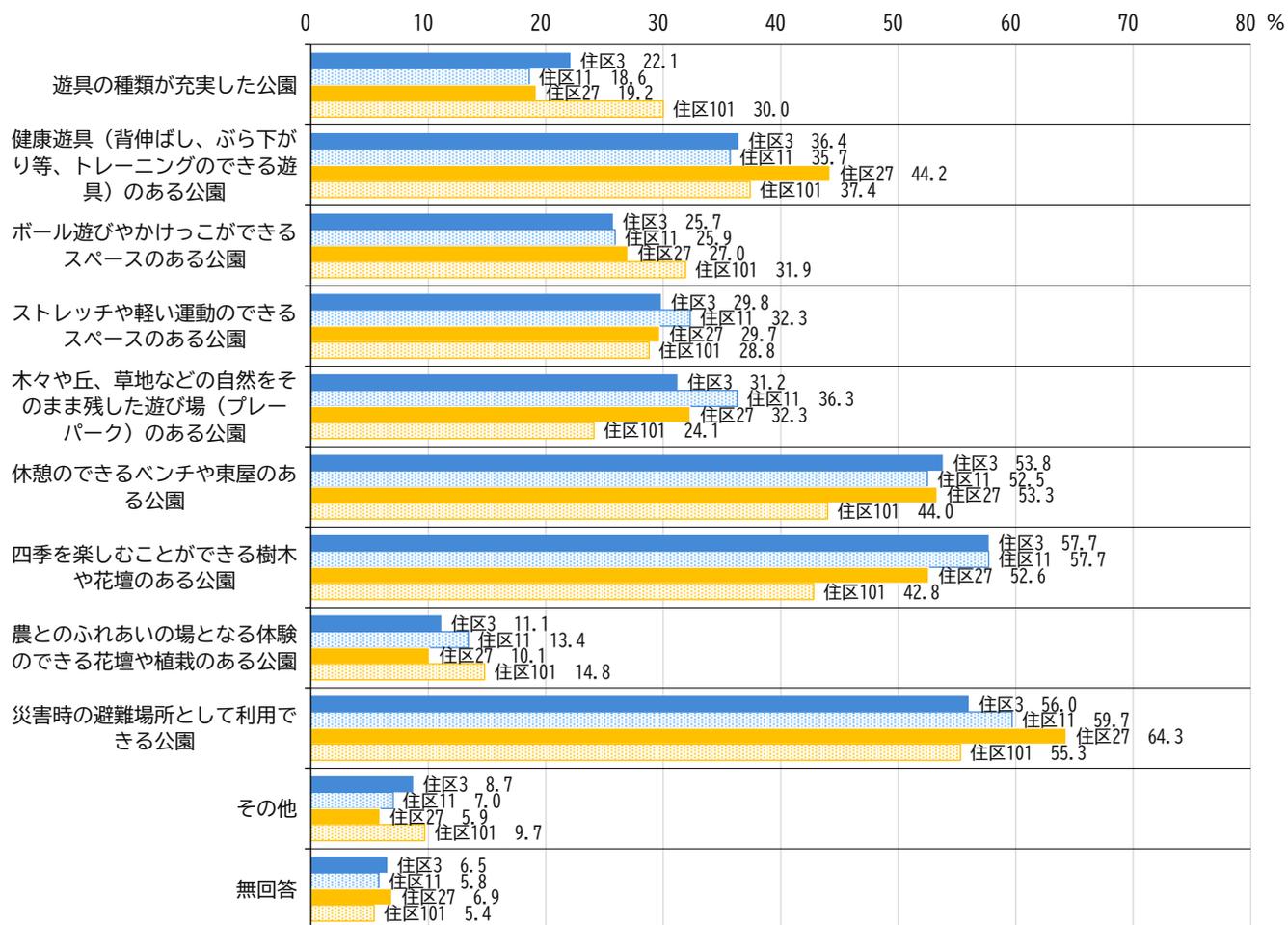
住区 101



問 10 あなたは徒歩・自転車で行ける範囲にどのような公園があったらよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 遊具の種類が充実した公園
- 2 健康遊具のある公園
- 3 ボール遊びやかけっこができるスペースのある公園
- 4 ストレッチや軽い運動のできるスペースのある公園
- 5 プレーパークのある公園
- 6 休憩のできるベンチや東屋のある公園
- 7 四季を楽しむことができる樹木や花壇のある公園
- 8 農とのふれあいの場となる体験のできる花壇や植栽のある公園
- 9 災害時の避難場所として利用できる公園
- 10 その他

○ 「休憩のできるベンチや東屋のある公園」「四季を楽しむことができる樹木や花壇のある公園」「災害時の避難場所として利用できる公園」のニーズが高くなっており、問9で不足していると回答されている項目のニーズが必ずしも高いというわけではない。



問 11 今後の千葉市の公園政策や公園の利用環境への意見や、地域の課題解決に向けて公園に望むことがありましたら、お聞かせください。

○ 主な意見を抜粋して下記に記載しており、意見の一覧は別途資料にまとめている。

- ・ 雑草が伸びて公園が利用できない期間があるため、もっと頻繁に草刈りをしてほしい
- ・ 樹木の落葉が多く生活に支障が出るため、剪定してほしい
- ・ 樹木がうっそうとして暗いため、安全に利用できる、開けた明るい公園にしてほしい
- ・ 自然を残して緑と花がゆたかな公園をつくってほしい
- ・ 公園ごとにテーマを決めて機能を充実させてほしい
- ・ 高齢化が進んでいるため、健康器具を設置してほしい
- ・ ベンチや四阿を充実させ、地域のコミュニケーションの場になるとよい
- ・ 子供がのびのびとボール遊びをできる公園がほしい
- ・ 災害時に使用できるベンチやトイレ等の施設整備をしてほしい
- ・ 高齢者の公園利用と子供の公園利用が重なる場合があるため、住み分けられるようにしたい
- ・ 利用が少ない公園を閉鎖し、他の公園を充実させてほしい
- ・ 高齢者と若い世代が交流できる場にしたい